

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 14 No.19 2012年10月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ブイキューブと大日本印刷、Web 会議システムにデジタルペン手書き機能を追加、Web 会議共有資料で自然な手書き入力を実現

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)と大日本印刷株式会社(東京都新宿区)は、ブイキューブが提供する Web 会議システムに大日本印刷のデジタルペン手書き機能を追加しより活発なコミュニケーションを支援するサービスを共同で販売開始する。(9月12日)

今回発表されたものは、Web 会議システム「V-CUBE ミーティング」と大日本印刷のインタラクティブ ホワイトボード オプション「OpenSTAGE」を組み合わせた形となっている。専用のホワイトボードにプロジェクターで資料画像などを投影し、投影した資料の上に自然な手書き入力ができるデジタルペンで情報を書き込むと、その内容が Web 会議システムの情報共有画面に自動でリアルタイムにアップロードされる仕組み。

大日本印刷のニュースリリースによると、ブイキューブの Web 会議システムの場合、マウスで書き込みを行うため、実際の紙やホワイトボードに書き込むような操作感が得られにくいという利用者の意見があったという。今回、ブイキューブの Web 会議と大日本印刷のデジタルペンとが連携することで図やイラストなどを用いて補足伝達することが迅速かつ容易になり、今まで以上に遠隔地間のコミュニケーションを活性化させる効果があると説明している。

導入シーンとしては、(1)複数の遠隔拠点を結ぶ研修やセミナーにおいて講師の板書内容を全拠点に配信、(2)メーカーや建設会社などの遠隔会議において、設計図面への書き込み内容をメンバー内で共有、(3)国内外における遠隔地間の会議において、口頭だけでは伝えにくい事項についての補助ツール、などが想定されるとしている。

両社は、さまざまな業界における企業や教育機関などへ幅広く提供し、3年間で約3億円の売上を目指す。

パナソニックソリューションテクノロジーのクラウド型 Web 会議サービス、H.264 に対応

パナソニックソリューションテクノロジー株式会社(東京都港区)は、同社が提供するクラウド型 Web 会議サービス「リアルタイムコラボレーション」において、「H.264 対応オプション」の提供を開始する。(9月12日)

リアルタイムコラボレーションは、オフィスや出張先、自宅などのパソコンやタブレットからインターネットに接続するだけで、手軽に会議ができるコラボレーションツール。

H.264 方式による高画質対応により、静止画像だけでなく、動きのある被写体も滑らかで鮮明な画像で共有することができるという。

このオプションは、リアルタイムコラボレーションを契約しているユーザへの追加サービス。ただし、H.264 対応モジュールのインストールが使用するパソコン毎に必要となる。加えて、H.264 方式に対応した Web カメラが必要。

オプションの費用について。初期費用(税込み)が2,100円/ID、また利用料(1ヶ月分)が2,100円/IDとなる。なお、6ヶ月以上での契約となる。

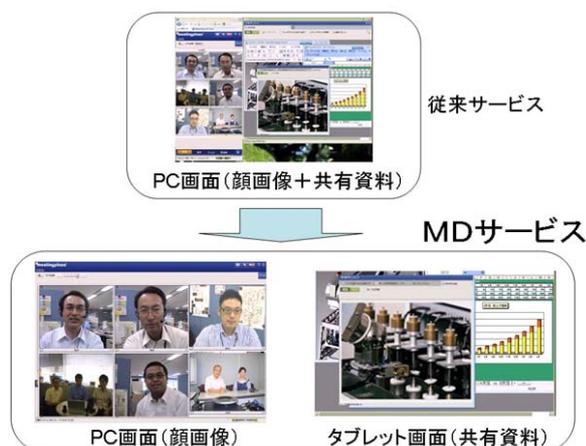
NTT アイティ、Web 会議における視認性を向上したマルチディスプレイサービスの販売開始

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、Web 会議の共有資料を、iPad、Android タブレット/スマートフォン、WindowsPC、Mac(以下、タブレット)に表示する「ミーティングプラザ MD(マルチディスプレイ)サービス」を発表。9月12日より販売開始。(9月11日)

ミーティングプラザサービスは、3,000社を越える導入実績

をもつ資料共有型 Web 会議サービス。

従来サービス(写真下)では、PC 画面に顔画像と共有資料を同時に表示していたため、ひとつの画面に両画像とも縮小されて表示されていた。



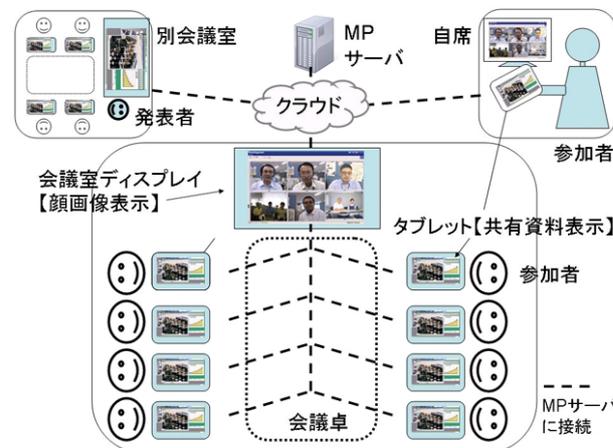
ミーティングプラザ MD サービス 画面イメージ (NTT アイティ資料)

一方、今回発表された、ミーティングプラザ MD サービスでは、顔画像を PC 画面に表示し、また共有資料はもうひとつ別の端末であるタブレット画面に表示する。それにより、それぞれの顔画像と共有資料とを大きく表示できるため視認性が向上した。

NTT アイティでは、今年 8 月に、実会議室内の複数端末間で資料共有ができる「ペーパーレス会議サービス」を開始。今回は、このサービスを拡張して、遠隔地点間でもペーパーレス会議を可能とするサービスを開発、ミーティングプラザ MD サービスとして提供することとした。

まず、発表者の PC と参加者のタブレットは、クラウドを経由して MP(ミーティングプラザ)サーバに接続する(ミーティングプラザ MD サービス構成図：右上)。そして、発表者の PC 上に表示された会議資料は、MP サーバにリアルタイムでアップロードされると同時に、参加者のタブレットに配信される形となっている。また、発表者が会議資料を変更あるいは編集すると参加者のタブレット画面にも即座に反映されるようになっている。このサービスでは、発表者の PC 画面のみを配信し、ファイル自体を配信しないため安全に会議を行えるようになっているのが特長。加えて、参加者はブ

ラウザを利用するため、ソフトの事前インストールは不要だ。



ミーティングプラザ MD サービス構成図 (NTT アイティ資料)

会議開催の手順は以下のとおり。(1)会議主催者が MP サーバの Web 画面で会議の予約を行う。(2)会議開催時間のみに有効な QR コードと URL リンクが会議主催者と会議参加者に自動配信される。パスワード認証によりセキュリティを高めることが可能。(3)会議当日、各会場に QR コードを提示。(4)発表者は当サービスに接続後、WindowsPC から会議資料を開き、共有ボタンをクリックする。(5)会議参加者は、タブレットで QR コードを読み取り、会議資料を取得、タブレットに表示する。

共有できる資料は、WindowsPC で起動するマイクロソフトオフィスなどほとんどのアプリケーションファイルを会議資料として使用可能。デスクトップの全画面、一部画面の共有もできる。また、その会議資料を PDF などに変換する必要がなくそのまま使用できるようになっている。

費用(参考価格、税抜き)について。5 拠点の定額ライト(使用時間無制限)への新規加入のケース:10 人が MD サービスを利用する場合は、初期費用が 30,000 円、毎月 60,000 円の費用がかかる(定額ライト 45,000 円に加え、1タブレット端末につき 1,500 円を 10 台分加算したもの。なお、年間一括払いの場合 15%引きとなる。詳細は同社に確認要。

NTT アイティによると販売目標は、年間 500 契約。同社のサービスの窓口は、ミーティングプラザ事業部。

シー・エス・イー、Cast@cademy をクラウド型サービスで提供開始

株式会社シー・エス・イー（東京都渋谷区）は、株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）との技術提携に基づき、シー・エス・イーが開発および販売する次世代ビジュアルコミュニケーションシステム「Cast@cademy（キャスト・アカデミー）」を、新たにクラウド型サービスとして9月11日より提供開始する。（9月11日）

これまで Cast@cademy は、ソフトウェアのみ提供していたが、利用ニーズはあっても導入実施に踏み切れないという声があった。そこで、より手軽に利用したいという顧客向けに必要な分だけを月額にて利用できるクラウド型サービスの提供を開始することにした。

Cast@cademy は、出席者管理や ID 発行、会議・セミナーの開催、開催中のアンケート、テスト実施など Web 会議に付随する業務をすべてシステム化できる機能を備えており、大学や研究機関などさまざまな顧客に導入されているという。

なお、シー・エス・イーでは、クラウドサービス提供開始にともない、Cast@cademy 期間限定トライアルキャンペーンを9月11日より11月30日まで実施している。詳細は同社に確認要。

シー・エス・イーは、1971年8月創業。ソフトウェアの開発、販売、保守サポートを提供している。

*関連記事:2010年3月31日号

ソフトフロント、NTT 東日本/NTT 西日本の「ひかり電話」対応したスマートフォン/タブレット向け IP 電話&テレビ電話アプリを発表

株式会社ソフトフロント（東京都港区）は、NTT 東日本/NTT 西日本の「ひかり電話」に対応したスマートフォン/タブレット向け IP 電話&テレビ電話アプリ「LivyTalk（リビートーク）」の提供を6月29日より開始。（6月29日）

同社が開発した LivyTalk は、Android や iPhone、iPad に対応し、アプリをダウンロードするだけで、ひかり電話の

電話番号を使って、一般固定電話や携帯電話、IP 電話などさまざまな機器と通話が行える。また、企業内に設置された SIP サーバへ接続して使用することも可能。



（LivyTalk 画面例、ソフトフロント資料）

スマートフォン/タブレットにおいては VGA (640x480 ピクセル) 解像度を実現。LivyTalk 同士はもちろん、ひかり電話を使用の場合には、さまざまなひかり電話対応機器との間でもテレビ電話が行える。携帯電話利用時よりも通話料を抑えることが可能という。

そのほか、不在時の電話に自動的に応答し、相手からのメッセージを録音する留守番電話機能や、通話中の会話を任意に録音する通話録音機能に対応している。自宅のタブレットに LivyTalk をインストールすればタブレットが留守番電話機のかわりになる。

ソフトフロントでは、スマートフォン/タブレット向けに高速・軽量化の技術開発を行った結果、高価な専用装置を使わずに本格的な高品質のテレビ電話アプリケーションを実現したという。

今後としては、音声・テレビ電話をしながら Web ページの共有や写真を送り合う機能の追加などサービスの拡充を検討し

ている。

今回の個人またはSOHO向けのLivy Talk提供をベースに、法人・サービス事業者・メーカー向けには、画面ユーザーインターフェイスの変更や機能追加などカスタマイズの請負開発、音声通話やビデオ通話を実現するコア技術の販売提供も行っていくとしている。

ソフトフロントのLivyTalk、NTT東西の「スマホ de ひかり電話」対応アプリケーションに追加

株式会社ソフトフロント(東京都港区)が販売するスマートフォン/タブレット向け IP 電話&テレビ電話アプリ「Livy Talk(リビートーク)」が、NTT 東日本/NTT 西日本が提供する「スマホ de ひかり電話」の対応アプリケーションに追加された。(9月3日)

東京「03」や大阪「06」などの固定電話の番号(0AB～J番号)に対応するひかり電話では、ソフトフォンにおいても、ひかり電話網への接続に必要な技術基準等をクリアする必要があり、このLivy Talkは、これを満たしたスマートフォン/タブレット向け IP 電話アプリ。

製品・サービス動向-海外

米 Zoom Video Communications 社、無料の HD 対応ビデオコーリングサービスを開始、Facebook や Google のアカウントからログイン可能

Zoom Video Communications 社は、無料の HD テレビ会議サービス「zoom.us」を開始。(8月22日)

zoom.us は、クラウド型 720p HD に対応、Facebook や Google のアカウントからログインを行い、Windows パソコン、Mac、iPhone、iPad から、シングルクリックでビデオミーティングが行えるようになっている。最大 15 人までの同時会話と画面共有が行える。またテレビ会議を開始する際に、ミーティング ID 番号を、インスタントメッセージングやメールで通知することで参加者を招待(invite)できる。なお、iPhone

や iPad 用アプリは、App Store からダウンロードする。

テレビ会議はビジネスにとって必要なツールとなってきたが、これまでは、ひとつひとつのミーティングに別々のアカウントが必要であったり、映像の品質が充分でなかったりと課題があったと自社では指摘する。

これまで複雑だった、友人や職場の同僚とのビデオコミュニケーションに Zoom.us のシングル クリック ソリューションを提供することで、iPad、iPhone、パソコンを問わず簡単にミーティングが行えるようになると自信を見せる。

Zoom Video Communications 社は、2011 年に設立。

米 J2Global 社、クラウド型 Web 会議サービスを開始

J2Global 社は、バーチャル電話サービス「eVoice」に、新たに「eVoice Web Conferencing(イーボイス ウェブ コンファレンシング)」サービスの提供を開始。(9月18日)

eVoice サービスでは、ボイスメール、ワンナンバー(電話番号、他の移動先電話に転送可能)、Go VoIP(着信電話をWiFi 環境のユーザに転送)などを提供しており、今回クラウド型 Web 会議サービスも提供することになった。

利用者は、フリーランスで仕事をする人や小規模ビジネスなどを対象としている。Web 会議サービスのサービス利用料は、1ヶ月\$9.99。30 日間のフリートライアル付き。

J2 Global 社は、1995 年設立。個人のほかビジネス向けのクラウドサービスを展開する。インターネット FAX やボイス、メールソリューションなどを提供している。

ビジネス動向-海外

FuzeBox 社、スタートアップ企業向けに、120 万ドル相当の Web 会議サービス利用権を提供

米 FuzeBox 社は、スタートアップ企業向けの基金「FuzeFund(フューズファンド)」を発表。(9月10日)

FuzeBox 社は、スタートアップ企業 500 社を対象に、2 年間の Web 会議サービス利用権を寄付(donate)する。基金規模としては、120 万ドル相当。ただし、過去 18 ヶ月以内にベンチャーキャピタルなどから資金提供を受けている、また、年間の

売上が 200 万ドル以下の企業が対象となる。

Web 会議システムなどのコラボレーションは企業にとって重要な技術であるにもかかわらず、スタートアップ企業にとってコスト的に見合わないこともある。その大事な企業ステージにおいて FuzeBox 社の Web 会議サービスを利用することで、事業の拡大やイノベーションの実現に役立つと期待している。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』 定期開催

日程:10月17日(水)、24日(水)、31日(水)

※全ての日程で 13:30~14:30、15:30~16:30 の 2 回開催

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

【東京・大阪同時開催】『実践！スマートデバイスで「いつでも、どこでも」ビデオ会議』セミナー ~ 出張先、在宅勤務、取引先での打合せ・・・活用シーンがどんどん広がる ~

日時:10月23日(火)14:30~17:15 (受付:14:00~)

会場:シスコシステムズ東京本社と大阪オフィス

主催:パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

共催:シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:(大阪会場)

<https://event.is-c.panasonic.co.jp/public/seminar/view/267>

(東京会場)

<https://event.is-c.panasonic.co.jp/public/seminar/view/268>

< 海外 >

The WR UC&C Summit - Singapore 2012

日時:11月28日-29日

会場:シンガポール、Conrad Centennial Singapore

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細・申込:

<http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=491>

定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、毎月2回業界ニュース(定期レポート)を1999年から発行しておりますが、この度、カタログスクウェアさんに、2003年から2011年までの定期レポートを1年毎に合冊していただきました。2012年は1号毎です。

また、先日8月4日には、これまでのPCからの閲覧に加えて、スマートフォンやタブレットからも閲覧できるようになりました。

CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版

2003年-2011年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

2012年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/2012/

定期レポート(PDFファイル)は年間23号発行されておりますが、電子ブックによって1年分を一度にダウンロードできこれまでのように1号毎にPDFをダウンロードする必要はありません。もちろん今までのPDFもアーカイブしています。

電子ブック版は、本のページをめくるようにとても読みやすくなりましたし、また1年単位ですが全文検索もしやすくなりました。定期レポートの読者の皆さんにとっても良いのではないかと思います。

ちなみにこの定期レポートは私にとっては、遠隔会議のリサーチの一環としてまとめているものでもありますし、また、私自身の活動を広げていくための機会への窓口にもなっています。

カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

*この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお願いたします。橋本宛 cnar@cnar.jp

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

定期レポートは、各社からのプレスリリースや、CNAレポート・ジャパンによる直接取材によって発行されていますが、これら以外にもさまざまな動きが市場では見られます。

定期レポートでカバーしきれていない動きについては、メーリングリスト「dte-forum」もしくは、フェイスブック「テレビ会議・Web 会議・電話会議 & ユニファイドコミュニケーション研究会」、twitter「CNA レポート・ジャパン」をよろしければご参照ください。その中で、情報配信量としては、ほぼ毎日配信している dte-forum が一番多いです。

詳細は、<http://cnar.jp> をご覧ください。

次号もよろしくお願致します。

橋本啓介